

学校だより

# 千載一遇

第3号  
松城中学校  
発行 山里 望



# 今のうちに考えよう!

## あたりまえって何?

今、新型コロナウイルス感染防止というこれまでに経験したことのない様々な状況が皆さんの周りで起こっています。これまで「あたりまえ」にしていたことができない状況です。そこで、「あたりまえ」についてその有り難さや大切さを深く考える時間を一人ひとりが作り、今を大切に過ごして欲しいと考えます。

これまでと今、  
今を過ごしたこれから

これまで、学校に登校し、多くの友達や先生と顔を合わせ自分の考えや伝えたいことを表現して、周りを見渡しながら、複数の人たちと一日の多くの時間を過ごしてきました。この時間は、過ごすことで悩んだり、喜んだり、時には喧嘩したりなど人とのふれあいの中で相手の気持ちを理解したり、自分の意思を示したりすることのできる時間です。皆が成長するビタミン剤のような大切な時間だと考えられています。そして今まであたりまえにしていた過ごし方です。そこでこのビタミン剤ですが、「周りの複数のひとたち」という条件の中でその効果は大きな力を発揮します。

なぜなら、そこにいる人たちは、互いが違う環境、つまり違う家庭で過ごした「あたりまえ」の感覚を持ち寄って集まっている集団だからです。これを価値観という言葉で表しますが互いの価値観を理解し、修正したり、深めたりすることが成長に大きく結びつく力(ビタミン剤)ということだと考えます。今、皆さんはそのビタミンが不足しています!



それを今すぐ補うことはできませんが、家庭で保護者や兄弟など家族と過ごす時間を利用し、お父さんやお母さんと価値観について話し合ったり、「家庭でのあたりまえ」の時間を観察しな

から、我が家のあたりまえについてまとめてみたりすることで自分を理解するのいいと思います。学校が再開し、またいつもの「あたりまえ」の生活に戻ったとき、友達や仲間と互いの価値観を深く見つめ、相互理解、自己理解につなげ、ビタミン剤の効果をもっと高めて、大きく成長して欲しいと思います。



### 課題の配付 順調に進んでいます

4月20日から順次一年生は教科書と一週間の課題、2、3年生は課題の配付そして間をおいて回収、配付といった取り組みを行っており全ての生徒が受け取ることができました。「3密」を徹底し、特に5人以上の集団が重なることも無く接触時間も1、2分程度と皆さんがルールをしっかり守って行動できていることに感謝しています。でも、お父さんやおかあさんなど家族の人は皆さんが外に出ることを心配しています。家族の人が家から出て欲しくないとい

言う場合は、無理に課題を受け取りに学校へ来る必要はありません。時間をすらしたり、先生方が家庭に届けたりすることもできます。連絡して下さい! 学校にくる目的の一つに先生方と顔を合わせ、一言でも会話をすることも目的です。先生方も皆さんの様子を心配していますので、何か困ったことがあれば、伝えて下さいね!



### 校長便り タイトル「千載一遇」について

「千載一遇」は千年に一度しか巡り会えない希な機会または、その機会の素晴らしい状況のことを意味します。そのような素晴らしい機会が常日頃の生活の中に潜み、多くのチャンスが身近にあることを認識し、一日を過ごすことが出来るよう努力していこうという思いがあります。時間の流れの中には必ずチャンスがあります。それが、小さなチャンスかも知れません。千年に一度のチャンスは、皆さんの今目の前にあるかも知れません。



キがチャンス!